

開催日時: 2016年 **11**月**23**日(祝) 13:00~15:30

開催場所: 東北大学川内北キャンパス 教育・学生総合支援センター4階 大会議室

講演1 **日本学術会議「答申 21世紀の教養と教養教育」の背景と今後**

藤田 英典 氏 (共栄大学 教授)

日本学術会議「答申 21世紀の教養と教養教育」(2010年)の作成の中心的役割を果たした(当時, 日本学術会議 日本の展望委員会 知の創造分科会委員長)。

講演2 **大学生のための社会学入門—日本学術会議参照基準を活かした授業科目編成**

篠原 清夫 氏 (三育学院大学 看護学部 教授)

日本学術会議参照基準に基づく授業科目の開発事例として『大学生のための社会学入門』(晃洋書房, 2016年)を著した。

講演3 **批判的思考と市民リテラシー**

楠見 孝 氏 (京都大学 大学院教育学研究科 教授)

教育, メディア, 社会を変える21世紀型スキルを提唱し, 『批判的思考と市民リテラシー』(誠信書房, 2016年)を著した。

● 教育内容

● 参照基準

● 能力・スキル

変動し複雑化する現代社会においては, 大学教育の役割も変化し, 学士課程教育から大学院教育へと専門教育の量と質が拡大するとともに, 社会を担う市民, 主体的な社会の形成者として求められる教養も変化しています。今まで支配的であった教養教育の枠組みは, 学士課程前期で, 専門教育の基礎と人文・社会・自然の幅広い知識を提供する均等履修方式が主流でした。しかし, これからは, 専門性にプラスした教養として大学院レベルまで拡張し, 学際融合的な内容や, 環境・人権・国際移民・持続可能経済などグローバルな人類共通の課題の共有が取り上げられるべき内容になっていると考えられます。

こうした教養教育の理念と内容は, 日本学術会議「答申 21世紀の教養と教養教育」(2010年)などで提唱されていますが, 広く共有されているとはいえません。日本における教養教育の再構築の試みとして3名の先生方をお招きし, 参照基準, 能力・スキル, 教育内容の3つの位相を関連させ, 教養教育のあり方を検討する集まりを設けました。教養教育は, あらゆる分野の教育と人材育成にも通底する重要な課題です。関心のあるかたは, ぜひご参加ください。

参加申し込み方法  
REGISTRATION

東北大学高度教養教育・学生支援機構 HP「イベント申込み」より Web にてお申込みください。

※Web申込み不可の場合は、氏名・所属・連絡先(e-mail)を明記の上、[iehe-seminar@g-mail.tohoku-university.jp](mailto:iehe-seminar@g-mail.tohoku-university.jp) までお申込みください。

<http://www.ihe.tohoku.ac.jp/>

東北大学高度教養教育・学生支援機構

検索

お問い合わせ先  
CONTACT

東北大学高度教養教育・学生支援機構事務室

TEL. 022-795-7551 E-mail. [iehe-seminar@g-mail.tohoku-university.jp](mailto:iehe-seminar@g-mail.tohoku-university.jp)

主催  
SPONSOR

「グローバル社会におけるコンピテンシーを育成する高度教養教育カリキュラムの開発研究」  
(代表羽田貴史, 基盤研究A, 2014~2017年度) グループ

共催  
COSPONSOR

東北大学高度教養教育・学生支援機構

# 21世紀の教養と教養教育を求めて